



JA山梨信連からのお知らせ

2006年
9月期

ミニディスクロージャー誌



MINI DISCLOSURE 2006

JAバンクとJAバンクシステム

JAバンク会員であるJA・信連・農林中金は実質的にひとつの金融機関として機能するよう、一体的に事業運営を行っています。これを「JAバンクシステム」と呼び、組合員・利用者みなさまに一層信頼され、利用される金融機関を目指しています。

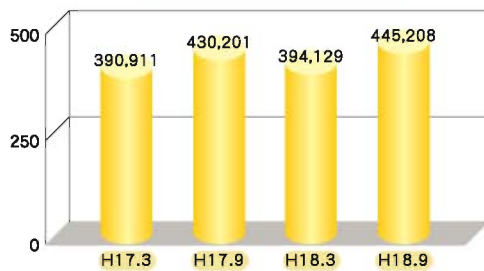


主要勘定の状況

(単位：百万円)

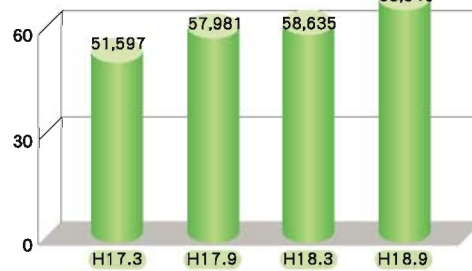
	平成17年3月末	平成17年9月末	平成18年3月末	平成18年9月末
貯金	390,911	430,201	394,129	445,208
貸出金	51,597	57,981	58,635	63,840
預け金	257,909	282,515	229,747	280,635
有価証券	76,461	100,012	105,654	105,560

貯金残高(百万円)



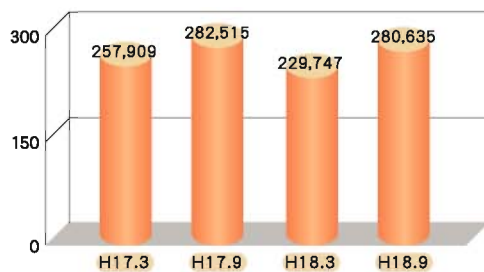
県内JAやその関係諸団体、組合員・地域の皆さまからの貯金をお預かりしています。

貸出金残高(百万円)



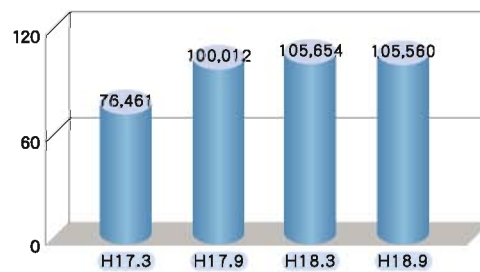
JA・農業に関連する企業・団体、県内地場企業や地方公共団体および組合員や地域の皆さまの各種資金ニーズに対応するためにご融資を行っています。

預け金残高(百万円)



安全性・流動性を重視し、農林中央金庫への預金により運用を行っています。

有価証券残高(百万円)



国債をはじめとする債券への投資などにより安全かつ効率的な運用を行っています。

有価証券等時価情報

(単位：百万円)

種類	平成18年3月末			平成18年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	27,928	27,017	△910	21,930	21,228	△702
その他	79,857	77,725	△2,131	84,978	83,629	△1,349
合計	107,785	104,743	△3,041	106,909	104,857	△2,052

※ 本表記載の有価証券の時価は期末日における市場価格等に基づく時価により計上したものであります。

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

各種農業関連イベントへの参加

- 県内の農畜産物を消費者により身近に感じてもらうよう、「味のワンダーランドやまなし」をイメージした果実・野菜の即売会の開催、また「山梨県農業まつり」等農業関係イベントへの積極的な参加活動。

- 農業融資専門金融機関として地域農業の発展のために、国・県等の政策に基づく以下のような制度融資を取り扱っております。

資金の種類	資金のご利用条件
農業近代化資金	担い手農業経営者が前向き投資をする際に活用していただける資金です。
農業経営基盤強化資金	
経営体育成資金	
経営体育成資金	農業経営の意欲と能力を有しながら、経営環境の変化等により農業経営の維持安定が困難な方を支援する資金です。
農業経営維持安定資金	新規に就農する方で、農業技術や経営方法を実地に習得するための研修や、農業経営開始時の機械・施設投資に活用していただける資金です。
就農支援資金	
農業改良資金	

- 地域の皆さまの生活支援のために、国・県等の政策に基づく以下のような制度融資を取り扱っております。

資金の種類	資金のご利用条件
住宅金融公庫資金	個人住宅やアパート等を建設購入する際に活用していただける資金です。
国民生活金融公庫の教育資金	ご家族の方の進学や在学の際に活用していただける資金です。

金融再生法開示債権の状況

(単位：百万円)

	平成18年3月末	平成18年9月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権①	1,612	1,588	△24
危険債権②	732	701	△30
要管理債権③	—	—	—
金融再生法分類債権総額 (④ = ① + ② + ③)	2,345	2,289	△55
保全額(⑤ = ⑥ + ⑦)	2,334	2,273	△60
担保・保証等による保全額⑥	1,280	1,096	△184
貸倒引当金⑦	1,054	1,177	123
保全率(⑤ / ④)	99.54%	99.29%	△0.25%
正常債権⑧	57,320	62,770	5,450
総与信額(④ + ⑧)	59,665	65,060	5,394

総与信額 (平成18年9月末)

65,060百万円

うち金融再生法開示債権総額
2,289百万円(3.51%)

破産更正債権及び
これらに準ずる債権
1,588百万円

危険債権
701百万円

要管理債権
—百万円

正常債権
62,770百万円

- (注) 1. [破産更正債権およびこれらに準ずる債権] 破産、会社更生、再生手続等の理由により経営破綻状態に陥る債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。
2. [危険債権] 経営破綻の状態には陥っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、元本回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権。
3. [要管理債権] 基本的には、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。
4. [正常債権] 債務者の財務状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記①から③までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

単体自己資本比率 (国内基準適用)

【自己資本比率の推移 (%)】



平成18年9月末

10.56%程度

- (注) [自己資本比率] 保有する資産に対する自己資本の割合で、経営の健全性・安全性を表す重要な指標です。平成10年4月から施行された「早期是正措置」により、「国際統一基準」では8%以上、「国内基準」では4%以上の自己資本比率を維持することが義務づけられております。当会は「国内基準」の4%を大きく上回る水準にあります。

JA山梨信連 社会的責任・地域貢献

当会は、山梨県を事業区域として、地元のJA等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に貢献する地域金融機関です。

当会の資金は、その大半が県内のJAにお預けいただいた農家組合員および地域の皆さまの大切な財産である貯金を源泉としております。当会では、資金を必要とする農家組合員の皆さま方や、JA・農業に関連する企業・団体および、県内の地場企業や団体、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JAとの強い絆とネットワークを形成することによりJA信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めております。

会員数および出資金額 (平成18年9月末)

(単位：百万円)

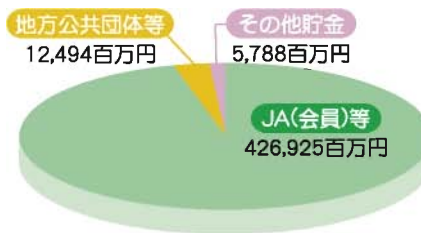
資格	会員数	出資金	(うち後配出資金)
正会員	17	8,670	(3,636)
准会員	18	2	-
合計	35	8,672	(3,636)

地域からの資金調達状況

県内JAやその関係諸団体をはじめ、組合員・地域の皆さまからも貯金をお預かりしております。貯金・定期積金のほか、国債、外貨預金等さまざまな商品を取り揃えています。

貯金残高 (平成18年9月末)

445,208百万円

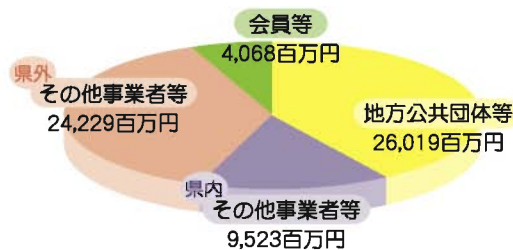


地域への資金供給状況

県内JAやその関係諸団体への融資をはじめ、組合員・地域の皆さまの暮らしや農業者・事業主の皆さまの必要な資金をご融資しています。

貸出金残高 (平成18年9月末)

63,840百万円



(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

MINI DISCLOSURE 2006



山梨県信用農業協同組合連合会

〒400-8530 甲府市飯田一丁目1番20号 ☎(055)223-3514

<http://www.jabank-yamanashi.or.jp/>